

## 6次産業化アワード 学生応援賞コメント

食料環境経済学科 農業経済研究室

2年 功刀陸大

ご紹介にあずかりました、わたくし、東京農業大学食料環境経済学科2年の功刀陸大と申します。本学科の農業経済研究室で、室長を務めております。この度は、6次産業化・表彰におきまして、東京農業大学農業経済研究室を携わらせていただき、誠にありがとうございます。請謁ながらコメントを述べさせていただきます。

学生という立場で、第一線で活躍なされている企業のみな様方を評価することは荷が重く、難しいだろうなというのが率直な感想でした。選考の過程を振り返ってみてもその意見は変わらず、私たちも学びながら選考に臨みました。

学生応援賞ということもあり、私たちは「学生目線」を重視しました。自分たち自身がそこで働いてみたいかなどの意味が含まれます。応募資料だけでは判断が難しかったので、ホームページやその他のサイトもよく検討しました。

選定をするにあたって私たちは3つの基準、①「SNSの活用等による若者目線での評価」②「福利厚生等の充実による後継者育成」③「六次産業の中でも一次の産業を発展させるような活動」を設けました。2,3年生20名でよく議論した結果、ミヤモトオレンジガーデン様はそのどの点においても学生からの支持が多く、選出いたしました。特に、インターネットサイトを利用した幅広い販路確保やGLOBAL GAP認定取得による生産面の強化、GAPを用いた若手育成への働きかけといった点が学生たちに強く響きました。選定を終えた時期に研究室で購入したミヤモトオレンジガーデン様の商品、どれも大変おいしくいただきました。冬のミカンには何か感じるものがありますね。

この選定は、秋に2年生に代替わりをした農業経済研究室にとって初めての活動で、不安の多いものではありませんでした。しかし、研究室員一人一人が積極的に選考に参加することで、議論やプレゼンテーションの方法を身につけることができました。また、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、研究室内での交流が少なかったため、その交流が自然と増えたいい機会でもありました。

私は農業が好きです。選定を通して、農業の面白さと可能性を改めて強く感じることができました。参加企業の皆様におかれましては、これからも若者を農業に呼び込む努力を続けてほしいと願っております。そして私たち若者は、これからの日本農業や関連産業を背負っていく覚悟と責任をもっていかなければなりません。まだまだ未熟ではありますが、学生としてできること・やるべきことを全うして、担い手として日本の農業・食品産業にプラスになる働きをしていきたいと思っております。世間は大変な状況ではありますが、これからの農業の発展と学生としての覚悟を心に決め、終わりの言葉とさせていただきます。

本日は、おめでとうございます。